

令和5年度 第1回子ども・子育て会議 会議録

日 時	令和5年11月10日(金) 午後1時30分～3時10分
場 所	河合町役場3階第6会議室
会議内容	1.開会 2.委員紹介、会長・副会長選出 3.協議事項 （1）第2期計画の進捗状況の報告 （2）ニーズ調査(アンケート調査)について 4.その他

## 1.開会

### 【事務局】

第1回河合町子ども・子育て会議を開催いたします。

この会議は、河合町子ども子育て会議設置条例 第6条第3項にあります、半数以上の出席をいただいておりますので成立するものです。

本会議は、河合町における子ども子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための「第三期子ども子育て支援計画」を策定し、町として必要な支援事業を審議するための会議です。

各委員は、保護者代表、子育て支援に従事する施設関係者、学識経験者、住民代表者で構成し、幅広い分野から様々な意見を取り入れ今後の計画に反映してまいります。

### 【事務局】

(資料の確認)

## 2.委員紹介、会長・副会長選出

(委員の紹介)

(事務局紹介)

(会長・副会長選出) 事務局一任

## 3.協議事項

### (1) 第2期計画の進捗状況の報告

(事務局より説明)

【委員】

時間外保育事業と地域子育て支援拠点事業に関し、実績の具体的な実態を教えてください。

【事務局】

つどいの広場に関しては、午前中のみを午前と午後にしました。また、コロナ禍も開設していたことで利用者が増加しております。

時間外保育事業に関しては、がかがやきの森こども園では、2号認定や3号認定の方で働きされてる家庭が多くなってきて、それに伴い朝7時から夜7時まで預けるといった家庭も増えております。これに対し、先生の数自体もそうですが、早朝時や夕方以降といった時間帯で特に先生が足りずギリギリでやっております。

【委員】

河合町の待機児童数は、毎年どの程度出ているのでしょうか。

【事務局】

今年度に関して、待機児童と定義されている子どもは出ていないということになっていますが、兄弟が同じところに行きたいけど無理だなど、隠れという形で何名かいるということにはなっています。また、育児休暇を延長したいけれども不承諾なので(保育を)お願いしたいという方もおられます。現在来年度の募集を行っていますが厳しい状況であるという現状は事実であります。ただ、現段階でどの程度待機児童が出るかについては、数値としては出ておりません。

【委員】

病児保育事業について、ニーズの割には利用が少ないというご見解でしたが、実情は異なると考えております。病児保育は定員6人で12時よりインターネットで予約開始されますが、開始と同時に入力しても「6番目」とか「定員を超えました」などと出てきます。そういう状況なのでニーズは相当あっても実際利用できているのはこの実績値1という事なのではないかと思えます。この表だけでは不明なところがあるのではないかと思うので、そういう不明なところを拾い上げるお考え等おありでしょうか。

【事務局】

今のお話をうかがって、何人利用されたという報告のみが「ぞうさんのおうち」よりされており、ネットでの何人待ちというところまで把握しておりませんでした。香芝市にも病児保育を実施している診療所がございますが、河合町としては連携できておりません。今後検討させていただきます。

【委員】

支援を要する子どもたちが子ども園でも小学校でも増えています。近隣よりの転入者で

支援を要する子どもたちの実績値があれば教えていただきたいです。

もう1点、保育士さんが足りてないとか小学校の先生も忙しすぎる等を聞きますが、一般的にも発達障害の子どもが増えており、より良い支援を必要とされている方も増えていると思われませんが、現状について教えてください。

#### 【事務局】

まず小学校と中学校の現状に関して回答させていただきます。令和5年度では小学校で60名、中学校で22名となっており、小中学生全体で971名中82名と、年々増えております。性格については自閉症や精神障害等に関しては国の基準で8人に対して1人の先生がつくということになっております。学年をまたぎながら8人に対して1人の先生が対応しているという状況で、学校としても厳しい状況となっております。対応としてはできるだけ管理職の先生と話をさせていただいて、最大限支援員を補充しながら対応させていただいているという状況です。

かがやきの森こども園では今年度も30人を超える要支援の子どもさんがおられますし、それに加えて気になる子どもさんも見られます。先生も疲労困憊で保育に当たられて到底足りておりません。ダウン症のお子さんも新たに入ってきて、ますます細かな支援の必要なお子さんも増える中、職員の数足りていないというのが現状です。

#### 【委員】

現状が町全体で共有されていないと思います。現状を議会でも反映させて、教員などが足りていないということのを要望なりしていかなければ破綻するのではないかと心配しております。障害と一口に言っても一人一人違い、現場の先生も大変だといいますので、要望等をしていかないといけないと思います。何か手を打たないと破綻して、結局子どもたちにも不利益が返ってくることになりかねないことを心配しています。現状は現状として共有していただきたいと思います。

#### 【委員】

国の線引きと実際の線引きが異なっていることがよくわかりました。小中学校の不登校児の対応も必要かと思いますが、国の支援と実情に関してご返答いただければと思います。

#### 【事務局】

実情と合わないというのはご指摘のとおりですが、国の基準は国の基準としてありますので、それ以外に対して町として対応していきたいと考えております。

不登校児の人数については正確な数は現在持ち合わせておりませんが、令和2年から4年にかけて倍ほどになっていると聞いております。この数は年30日以上休んだ児童の推移となっておりまして、不登校の数が年々増えているのはコロナなどさまざまな原因もありますので、学校と協議しながら対策をしていきたいと考えております。

議会では適応指導教室の設置やフリースクールの設置等の話もあり、今すぐというわ

けではありませんが、教育委員会でも前向きな返事ができるようにいたしたいと思います。

【委員】

議会でも適応指導教室やフリースクールの設置に関する話も出て、対応していくという話になっております。保育士の数についても国の基準も30対1から25対1に変わるなどしまして、またシフトの面のように目に見えない数でも変化があると聞いておりますので、議会でも対応していきたいと考えております。

## (2) ニーズ調査(アンケート調査)について

(事務局より説明)

【委員】

前回のアンケート調査時に返信用封筒が小さくて用紙が入らなかったという保護者の声がありましたので、きちっと入る封筒でお願いしたいです。

【委員】

まず1点、共働きが当然の現状でこの膨大な設問を回答、封筒で提出するという手間が親にとれるだろうかという疑問があります。二次元コードをつけてネット回答にしていたら時間や場所を問わず回答可能なので、(回答する)親への伝わり方も違うと思います。この点に関して、役場の方がこのニーズ調査にどの程度の回答率を求めているかにもよると思うんですが2期のアンケート回答率は2割ほどだったと記憶しています。2割を町民全体のニーズ調査といえるのかどうか、役場や子育て会議として回答率を100に近づけるための方策を考えないといけないと思います。

もう1点、子育て支援計画の対象年齢に関して、子ども基本法では心身ともに発達段階にある者とされていますが、そうすると小学校までばかりが子育て支援計画の支援対象という事ではないと思います。河合町には高校がないため割愛しますが、中学卒業までは対象内だと思うし、例えば部活の民営化などはニーズ調査の対象になると思います。となると就学前と小学生だけでは足りないのではないのでしょうか。2期でアンケートした結果を実績としてここまで反映したので3期に向けてさらにアンケートをとりますというのでないと、回答者である親の方も回答する気にならないのではないのでしょうか。

3点目、子ども家庭庁は子ども本人の意見を吸い上げるということをアピールしているが、河合町のアンケートでは子どもの意見が反映されにくいと思います。子ども園に行かれていますお子さんはともかく、河合町の公立小中学生には全生徒にタブレット端末が配布されているので、生徒にアンケートをしてもいいと思います。

【事務局】

当初ネットアンケートは想定しておりませんでした。業者とも相談の上前回と同じく紙

での配布となりました。

**【委員】**

配布は紙でいいですが、回答時に二次元コードを使うようにすればいいのではないのでしょうか。

**【業者】**

働いている親御さんにアンケート調査が大変な負担だということは承知しておりますが、全国一律で1期から3期までのアンケートを行うよう通達が来ております。ネットアンケートに関しては今のところ回収率は低い傾向にあります。配布について子ども園や小学校等で配布されるので回収率も一般的なアンケートよりは高いのですが、学校等の施設以外で配布されるアンケートはご指摘のとおり低い傾向にあります。これを問題視されるのであれば他の町の回収率を事務辱にお伝えするのでそちらで確認をお願いいたします。ネットアンケートは今回の業務ではありませんが、仮に行うとしても各個人にIDとパスワードを配布する必要があり、今回の年度内では難しいと思います。

**【委員】**

業者さんの意見はそれで正しいと思いますが、町としてどうお考えなのかをお聞きしたいです。

**【事務局】**

認定こども園からは各保護者に直接配布と直接回収をお願いする予定です。それ以外の世帯には返信用封筒同封の上郵送します。小学生世帯では公立の生徒には直接配布と直接回収をお願いし、それ以外に通われている世帯には返信用封筒同封の上郵送いたします。今回はネットアンケートをできない状況ですが、以上の方法で漏れのない調査を行いたいと考えています。次回にはネットアンケートをさせていただきたいと考えています。

委員のおっしゃる通りで、部活等のアンケートに関しては二次元コードを使った方法をとっておりますが、総合的に考えた結果紙が重視されているのではないかと考えています。次回以降ではネットアンケートもできるのではないかと思います。

子どもの意見を聞くということに関して、回答になるかどうかわかりませんが、中学生議会というものがあります。河合町では15年位前にやめた経緯がありますが、子どもの意見を聞く機会の一步として中学生議会を復活するなど、予算の関係もありますので来年度以降に考えております。

**【委員】**

小学生の意見はどうなるのでしょうか。

#### 【事務局】

現段階では第一歩として中学生を考えております。小学生の意見は懇談会や会議等話を聞きだす環境を考えていけたらと思っております。

参考までに生涯学習では、子どもの意見を聞くという場として小中学生向けの講座を開催しており、その講座内のアンケートで子どもの要望や感想を聞くことで次年度の講座に結び付けております。

#### 【委員】

国の学力調査に付随するアンケートにおいて、河合町では居場所がないや自己肯定感がないがかなり低い傾向にあると思います。要は子どもがここにいる納得感がないけれども、ではどうしたいのかをきかれる機会がないからではないでしょうか。それなのに親の意見だけを聞いてもよいものかどうか、国の方針に従うのはいいとしてもこのニーズ調査だけでできているのかどうか、河合町としてどういうことをきいたら、支援計画に紐づくのかどうか、この調査を見た段階ではよくなるとは思えません。それにちゃんと答えてくれるのか。実働はだれなのか見えないことや、国がやれといっているののでしているように見えることが不満です。

#### 【事務局】

小学6年生の学力調査でのアンケートや中学3年での調査でご指摘の様な反応が返ってきているのはあるかと思えます。アンケートの結果を反映させたいとは考えていますが、そのためにも回収に力を入れたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

#### 【委員】

生徒の意見反映は今後の検討材料として期待しています。

## 4. その他

#### 【委員】

子ども家庭センターについて、くわしい中身を教えてください。

#### 【事務局】

子ども家庭庁が設置されたことで、努力義務ではありますが来年4月以降子ども家庭センターを各市町村設置に向けて動いているところです。国の方からはまだ指針が出ていないのですが、令和9年度にはできる見込みと国からは示されております。

子育て支援センターと機能は同じで、妊産婦等一体的に連携をとっていく事になるかと思えます。スタッフはセンター長と児童福祉と母子保健の経験を持つ統括支援員が配置され、両方の機能を支援員が連携しながら行うイメージとなっております。

**【会長】**

それでは、事務局の方から今後の予定についての連絡をお願いします。

**【事務局】**

11月から12月にかけてニーズ調査票の作成、1月から2月に配布回収、3月に集計分析を行いたいと考えています。皆様のご意見を集約して調査票を作成し、そのうえで皆様にもう一度見ていただきたいと考えていますが、日時は後日またご連絡を差し上げたいと思います。

**【会長】**

以上を持ちまして第1回河合町子ども・子育て会議を終了いたします。